

# 感染症週報 [ 市内週報 平成21年第37週 ]

結核・感染症発生動向調査

平成21年9月15日

平成21年第37週感染症発生状況【川崎市内】

平成21年9月7日～平成21年9月13日

5類感染症(定点把握疾患)	全数把握疾患	届 出	累計(平成21年第1週以降)
<p>第37週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 突発性発疹となっています。</p> <p>前週、わずかに減少したインフルエンザの報告数が再度増加に転じました。幼稚園や小学校、中学校での学級閉鎖等の臨時休業が25校と非常に多くなっていますので、今後の発生動向には注意が必要です。</p> <p>《新型インフルエンザ情報》 8月25日より感染症法に基づく医師の届出が当面の間、不要となりました。現在、報告のあるインフルエンザのほとんどは新型インフルエンザと推測されます。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 6件	結核 269件
	3類感染症	なし	細菌性赤痢 3件 腸管出血性大腸菌感染症 17件
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件、オウム病 1件 デング熱 1件、レジオネラ症 5件
	5類感染症	なし	アメーバ赤痢 8件 ウイルス性肝炎 2件、急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 後天性免疫不全症候群 12件、ジアルジア症 2件 髄膜炎菌性髄膜炎 1件、梅毒 5件、 風しん 1件、麻しん 22件









